

施策番号	2102		
施策名	商業・業務機能が集積したにぎわいのある魅力的なまちづくり		
概要	田の字地域や京都駅周辺などの都心部において、交通拠点の周辺、それにつながる幹線道路沿道の土地利用を、都市計画手法などを活用して誘導するとともに、商業・観光振興施策と連携し、事業者による主体的なにぎわい創出の取組を支援する。		
担当局・部室	都市計画局・まち再生・創造推進室	共管局・部室	
上位政策	21 土地利用と都市機能配置		
施策に関する主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン、京都駅南口周辺地区まちづくり指針、京都市商業活性化アクションプラン2011、京都観光振興計画2020		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	田の字地域及び京都駅周辺における商業・業務施設の面積（百㎡）	b	a	49,339	50,626	49,339	102.6%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		b	a					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	田の字地域（河原町通、烏丸通、堀川通、御池通、四条通、五条通の幹線道路沿道地区）や京都駅の周辺は、にぎわいのある魅力的な地域である。	a	a	187	308	111	41	23	670	-
				27.9%	46.0%	16.6%	6.1%	3.4%		
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		a	a							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	A	令和元	A	令和2	A	施策の目的が十分に達成されている
重み付け	☐ 客観指標	客観指標は、商業・業務施設の施設規模を表すものであり、にぎわいが集積してきていることを示す一つの指標でしかなく、空きテナントや集客力などについては評価に反映できていないため、より全般的な視点でにぎわいのあるまちづくりを評価できる市民生活実感調査の方が適している。				
	☒ 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・地区計画等の都市計画手法を活用した取組や事業者によるにぎわい創出の取組を支援し、商業振興施策や観光振興施策とも連携を図りながら、にぎわいのある魅力的なまちの実現を目指す。

施策名	2102	商業・業務機能が集積したにぎわいのある魅力的なまちづくり				
指標名	田の字地域及び京都駅周辺における商業・業務施設の面積（百㎡）					
担当課	まち再生・創造推進室		連絡先	2 2 2 - 3 5 0 3		
1 指標の説明						
田の字地域や京都駅周辺などの都心部の，商業・業務施設の延べ床面積						
2 指標の意味						
にぎわいあるまちづくりに向けて，田の字地域及び京都駅周辺における商業・業務施設の面積の増減を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：土地利用現況調査資料			
4 数値						
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	49,339	50,626	1,287百㎡増	49,339	過去10年の最高値（平成29年度）	102.6%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-			-		
5 評価基準						
単年度目標値に対する達成度が a：100%以上 b：99%以上100%未満 c：98%以上99%未満 d：97%以上98%未満 e：97%未満			6 基準説明			
			・過去10年（平成20～29年度）で最も高い数値と比較し100%以上であればa評価 ・以下1%刻みでb～e評価 最高値49,339（平成29年度）			
7 評価結果						
平成30	令和元	令和2				
b	a	a				